

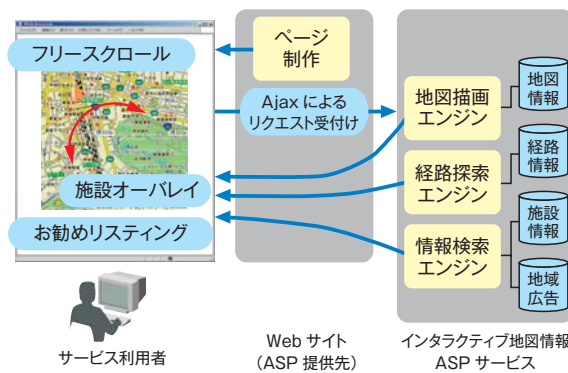
インターネットサービスと技術の新しい開発・利用形態がWeb2.0ということばで総称されるようになりました。消費者参加型のメディアであるCGM (Consumer Generated Media) が数多く生み出されたり、Webサービスどうしを相互に連携させることにより、新たなサービスを容易に構築することが可能になった動向を指します。ブログに代表される消費者参加型のサービスから生まれる情報は、RSS (Rich Site Summary) というメタ情報で配信されます。またWebサービスのユーザーインターフェースを使いやすいするために、Ajax (Asynchronous JavaScript and XML (eXtensible Markup Language)) というプログラミング技術が使われるようになりました。これらの技術や情報を組み合わせることにより、Webはますます情報流通のプラットフォームとして進化しています。

東芝では、Ajaxを使ったリッチなユーザーインターフェースの新サービスを開発し、ASP (Application Service Provider) サービスとして提供できるようにしました。Ajaxによりスクロールを容易にできる地図サービスを開発したほか、グループ会社である(株)駅前探険倶楽部では、Ajaxを使った鉄道路線図サービスを開始しました。また、“バリューブランド”という新サービスの中で、既存のWebサイトをRSS配信に対応できるようにしています。今後も先進のインターネットサービスを開発して提供していきます。

(注) ハイライト編のp.16に関連記事掲載。

iバリュークリエーション事業部長 村永 哲郎

● インタラクティブ地図情報ASPサービス



インタラクティブ地図情報サービス
Interactive interface for online map service

地図を利用したWebサービスが急速に浸透するなかで、幅広い層への地図提供を狙い、地図を閲覧する利用者や、地図を使ったWebページを制作する利用者にも、使いやすい地図インターフェースを開発した。

このインターフェースでは、Ajaxという技術を用い、フリースクロールの地図を提供するだけでなく、情報検索の結果や道案内などを対話的に表示できる機能を持つ。構築するWebサイトの規模に応じてライブラリなどの提供範囲を変更し、個人向けには地図はり込みのためのHTML (HyperText Markup Language) を提示する。様々な情報源のデータを地図上にオーバーレイしたり、ページ内にリストアップすることも容易である。Web2.0のコア商品として展開する。

● 既存サイトを元にしたRSSの配信を行うASPサービス



API : Application Program Interface
“バリューブランド”サービスでのRSS対応システム構成
Schematic of “Valuebrand” service

“バリューブランド”サービスでは、既存のWebサイトに対して改修や機能追加を行うことなく、RSSの生成と配信を可能にする仕組みをASPサービスとして提供する。

このサービスでは、関連会社の(株)ニューズウォッチのサイト巡回プログラムと連携してRSSデータの生成を行う。RSSを構成する記事に対しての件数、掲載期限、対象とする記事中のキーワードなどが指定可能である。更に、任意の記事を手動で追加して記事一覧の最上段に表示させたり、複数のRSSデータをまとめて配信するシンジケーション機能も備えているなど、RSSがデータ配信の標準フォーマットとなりつつあるWeb2.0時代を見据えたサービスである。